



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

Rotary International

週報

— さあ、今こそ我等の出番だ —

2011~2012 年度 会長 濱仲 幸弘

Vol46 No.10 平成 23 年 9 月 20 日

第2198回 例会 報告 — 9 月 20 日 —

本日の司会

丸岡 SAA 委員

第2198回例会

点 全員協議会 鐘
ニニコボックス
委員会報告
幹事報告
会長の時間
お客様紹介
ロータリーング
点



ロータリーソング

『我等の生業』

お客様紹介

濱仲 会長

○藤波瑋光様 (第2750地区多摩中グループ ガバナー補佐)

○中里芳治様 (第2750地区多摩中グループ グループ幹事)

会長の時間

濱仲 会長

本日はガバナー補佐訪問ということで、藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事がおみえになっています。お二人に会うのは久しぶりなのですが、これからは度々会う機会があるようです。それだけRCの活動が本格化してきたという証でしょう。お二人には、後ほどたつぷりと地区の現況などを話していただきたいと思います。



さて、会長挨拶では枕詞として天気の話から始めていたのですが、今年に関しては話題に事欠かない年となりそうです。これまでの経験則が通用しない異常な状態が続いています。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、今年はどうなるのでしょうか。現在台風15号が近づいていますので、今日から明日いっぱい雨が続くでしょう。前回台風12号で大きな被害を受けた和歌山県では更なる土石流ダムの決壊が懸念されています。新たな二次災害が起こらないことを願うばかりです。9/17(土)~9/19(月)にRYLAセミナーが開催されました。ご存じの通り、内田会員の鉄道総研から谷口陽子さんという若い女性が参加され、国分寺RCがスポンサークラブになっています。今回は20歳~30歳の素晴らしい資質を持った青年男女36名が集まり、2泊3日のセミナーとして開催されました。私は初日の開講式と基調講演第一部のみ参加してきました。

私の素直な感想をいうと、こういった若い人たちが緊張しながらも講演に集中している姿は大変清々しいものがあるということです。予定時間を大幅に上回るほど質問もされていました。RCの熟年たちが集まる会合だと、もう少しだらだら感なり、なれ合い感が見えてしまうのですが、とても新鮮な感覚でした。3日目の閉会式には、高橋幹事と内田会員が参加しました。受講直後のやや興奮した状況の中、お二人が受講生に対し、どの様に感じたか、それは後で話していただきたいと思います。また受講生谷口さんにはRC例会に来ていただき、報告と素直な感想を述べていただく予定です。その発表をもって、彼女にとってのRYLAセミナーが完結すると思います。期待しています。

幹事報告

高橋 幹事

藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事、ようこそおいでくださいました。クラブ協議会ご参加のほど、よろしくお願いいたします。①9月19日(月)府中生涯センターで開催されましたRYLAセミナー報告会に内田新世代委員長と参加してまいりました。36名の参加で大学生(ローターアクト含む)が2/3、社会人1/3。多摩中グループからは東京国分寺RCのみの参加。10月4日に鉄道総合技術研究所谷口陽子様より、セミナー参加報告をしてもらう予定です。②先週、紹介のあった国分寺青年会議所20周年記念講演会の入場券をいただきましたので、ご希望の方は高橋までお声かけください。③9月27日(火)14:00~国分寺まつり出展説明会、泉ホールで開催予定。渡辺奉仕グループリーダー出席。



委員会報告

出席委員会

篠原出席委員長

会員数: 42 名 免除: 4 名

メーキャップ済み: 2 名

欠席: 4 名

出席率: 89.4 %

<前々回の修正> なし



ニコニコボックス

山内親睦副委員長

濱仲会長・高橋幹事：藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事を歓迎してニコニコします。今後ともご支援よろしくお願いします。亀田会員：今日は藤波多摩中グループガバナー補佐をお迎えしてニコニコさせていただきます。田中会員：①よ



うこそガバナー補佐藤波さん、幹事中里さんおいで頂き歓迎申し上げます。②先日多摩カップでせがれが優勝させて戴きました。そのせがれに本日子供が生まれました。私にとって8番目のまごです。

クラブ協議会

○司会：高橋幹事

○継続的奉仕活動について：北田長期計画策定委員長

今日は長期計画策定委員会として、今までの経緯を説明させていただきます。我がクラブは70名から42名まで会員が減少しました。これについては、何度も皆さんに減少した理由を説明しております。また、全国の平均が、1クラ



ブ28名というのが平均という時代になって来ております。このような環境の中で、昨年度、長期計画をやったかどうかと言う話を頂きまして昨年度から長期計画策定委員会をつくりました。RCは、高齢化とか、不況だとか、マンネリだとか、問題出てきております。一方でNPのいろいろな奉仕活動があったりして、ロータリー自体の事業は少し陰りが出来たと云う状態になって来ております。その中で、昨年5回の協議会を開かせて頂きまして、我がクラブの長所、短所はどんなものだろうか、7班に分れいろいろな意見を頂きました。大変参考になりまして、皆さんも長所・短所につきまして一応認識されてきたように思われます。そのような中で、初年度は委員が5名選ばれました。名前を言いますと、倉島さん、丸岡さん、関口さん、長尾さんと私の5名で早速いろいろ協議しました。その中で、2班に分けて、倉島・丸岡さんグループは、ロータリーの活動を、RIを含めて、我々の30万円の金額がどのように使われて、どのような立派な仕事をしているか、と云うことについて、会員にもう一度知らしめようと言うことです。関口・長尾さんグループは、我々メンバーは何人位が適正であるかなと、皆さんから意見を頂きましたが、50名以上がいいなと言う意見が大半でありました。それからもう2つの重要なことがあります、1つは、継続的活動ですが、今までニコニコボーリングを十数年やって来ましたが、ボーリング場が閉鎖されましたので、次は何かと云うことを模索しようと言うことになり、この継続的奉仕活動を重点的に、今年いっぱい、一応案をまとめて、来年度に実行に移そうという話がまとまりました。2つ目は、いろいろ寄附をしておりますが、寄附行動の見直しをすると言う、この2つを、昨年度、ここまでまとめました。

今年は、2年目と云うことで、メンバーを5名増やしました。そのメンバーは、高相さん、桑原さん、照木さん、山内さん、篠原さんで、全員10名で早速協議会を開きました。そこで、継続的活動をまとめようと話し合われました。今日、その中の3名の方に中間報告をさせていただきます。

○具体的活動内容：倉島長期計画策定委員

財団あるいはRIの活動を皆さんに出来るだけ認識して頂くという長期計画活動をすると言うことでしたが、今日まとめたのは、地域社会に絞ってです。日本人は、家族関係と会社関係にしか交友をしない。他の国と比べると、社会的孤立度が高くなって来ている。それをひとつのテーマとして、RCがお世話をしている地域社会に人間の絆を再生する活動の波を起こし、同時にRCの存在意義を地域に広報すると云うことを考えました。実施可能な具体的条件と具体例を次に挙げます。



●条件：地域社会対照、長期持続可能であること、会員が行動で参加できること、参加対象者の自助努力も要請する、その会場に展示等RCを広報する。

●実施サイクル：初年度を準備期間に、第二年度に活動実施を繰り返す。

●参加対象者の自助努力例：障害者・小中学生・高齢者の作品チャリティー販売を基金にする。

●共催団体：近隣RC、姉妹RC、社会福祉協議会、健康福祉協議会、ボランティア団体などに声を掛ける。

●参加対象者：保育園・幼稚園・小中学生、障害者団体、高齢者施設居住者。

●会場：本多公民館ホール、小中学校体育館、都立武蔵公園、共催RCの地域施設。

●活動例：屋内外運動会、障害者の屋内球技大会、参加者発表会、ボランティアコンサート、鑑賞会、高齢者施設居住者に対する保育・幼稚園児の慰問発表会、子育て支援、小児検診支援、健康支援後援会等考えられる。これらを市報やメディアに機会を捉えて広報する。

○関口長期計画策定委員

どのような組織にとっても中・長期計画を起てるのは当たり前のことです。昨年度、RIから地区、そして各クラブに対し長期計画策定委員会を設置して模索・検討の指示が出たと云うことは、これまでに体験した社会状況や景気の影響など多くの要因が発生して、RCとロータリアンにとって変革が必要となる時期を迎えたからだと考えます。



昨年、RIが作成した「長期計画立案ワークシート」の作成にあた

り国分寺RCの歴史を振り返って見ますとRCを立ち上げた方々、「ビジョン」と「使命」を基軸に親睦を大切にしながら、多方面に向けた多くの奉仕活動を展開し国分寺RCのすばらしさと歴史を引き継いだ先輩の方々がいました。これからの国分寺RCが向かうべき方向を模索する為に当クラブの現状分析をしました結果、ロータリークラブの制度である「単年度制による執行部が毎年変わる事」、「地域社会の諸団体との連携が弱い」、「PR活動が上手くない」、「会員資格が変わった」、「会員増強が弱い」などにより「継承性確保の難しさ」、「活動のマンネリ化」、「会員の高齢化と会員数の減少」、「存在意義が喪失気味」など多くのことが当たり前に意見が出されました。このようなことを改善する為に、「クラブの会員数を50名とする、それも平均年齢が50才代を目標とする」、「奉仕と親睦を連携させ楽しいクラブにする」、「無理をせず身の丈にあった活動をする」、「会員の専門職を生かし、地域社会のリーダー間の親睦を通じてネットワークを作成して社会貢献型奉仕活動をする」、「PR活動を上手にする」、など改善方法でも数多くの意見が出ました。ロータリアンとして自覚を持ち地域で認められる組織になるため、今すぐ出来る具体的活動は、「東日本大震災で被災された地域が復旧・復興するまで10年をめぐりにチャリティ活動をする」、「災害時における防災協定を国分寺市と締結して総合訓練へ参加及び諸団体とのネットワークを構築し、お年寄りや身障者の支援活動をする」、「中学生を対象にしている救急救命の講習テキスト配布と体験講習を継続的に行う」などが身の丈にあった奉仕活動することだと自分は考えます。また、寄付金行為だけでなく、汗もかく必要もあり、それも速やかに実行することが肝要であると思います。

○ 照木長期計画策定委員

近年、社会は大きく変化しております。

2003年、日本ではCSR(企業の社会的責任)元年と言われ、多くの企業のみならず諸団体が地域貢献活動を行うようになりました。その結果、昔のように一つの団



体が大きな地域貢献を行うことが難しくなりました。大きなプロジェクトを目指すだけでなく、従来の多くの奉仕活動の継続に加え、小規模ではありますが当国分寺RCで実行可能な活動の策定が大変重要であると考えました。活動内容につきましては毎年定期的な見直しが必要です。基本方針は、次の4つ挙げられます。具体例等は配付資料をご覧ください。

①国分寺RC各会員の職業(専門分野)及び地域活動を有効活用し国分寺RCの特徴を出す。(各会員はあらゆる分野において国分寺市を代表している。)

②最大限の効果を生むために他諸団体との共同活動も可。(ケースによりロータリー財団を活用する。)

③地域及び社会が現在最も望んでいることを視野に入れる。(具体例は配布資料のとおり)

④国分寺RCの継続的な奉仕活動を積極的に地域社会の皆様に応援し会員増強に繋げる。(広報活動の強化:HPに奉仕活動一覧を新たに掲載し、会員へも周知徹底を図る。具体例は資料のとおり。)

○多摩中グループ内奉仕活動状況 中里グループ幹事様

本年度多摩中グループの幹事を仰せつかりました中里です。宜しくお願いします。先日は、親睦ゴルフに参加頂きまして有難うございました。天候にも恵まれ、いい一日が過ごせたのではないかと感じております。



7月より活動を始めまして約2ヶ月過ぎようとしていますが、現在6クラブの協議会に参加させて頂きましたが、その中で共通事項として挙げられていることは、災害支援をどのようにして行ったらよいのだろうかと言うことで、その中で協議が行われ、実際現地の動き、今何が必要なのかと言うことを現地の方と話しをしながら、支援を行ったと言うクラブもありました。具体的に言いますと津波の時の道標の設置、福島原発事故に伴う被災者の方の就職のサポート、そういったことをしたり、あと、ボランティアツアーの企画等の話し合いをしたと言うところもありました。それと、各クラブと地元地域との関連を図り、様々なイベントに取り組んでいると言うクラブもありました。そこでひとつ云われたことは、会員全員で無理のない奉仕活動をして行かないと、長く続けて行くことが大変であると言っていたクラブもありました。それと、クラブ単体ではなく、ロータリー全体として取り組む奉仕活動も必要でないかと云う声もありました。6クラブを回らして頂いて、やはり、一番問題となっているのは、会員の減少と言うことであると聞かされました。それで、先日、会員増強委員会と言う形で委員長さんをお呼びしまして、どうしたら会員増強出来るのかと言うセミナーを行いましたし、また来年も再度言う言うセミナーを行いまして、如何に会員を増やして行くか、また、逆にどうやったら退会しないだろうかと云うことを考えながら、これからまだ約10ヶ月ありますが、藤波ガバナー補佐と頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いします。

○奉仕活動について総括 藤波ガバナー補佐様

本年度ガバナー補佐の藤波です。只今グループ幹事からいろいろ説明させて頂きました。多摩中グループで初めてガバナー公式訪問があったのは井の頭・三鷹の例会でした。今年の片倉ガバナーは温厚な人です。私はガバナー補佐になるまで、片倉さんと云う人を知らな



かったのですが、初めて出会った時に、ああ良かった！この人ならやってやると云う気が起きました。国分寺と武蔵国分寺と合同例会の時にガバナーが公式訪問で伺います。ガバナー会と云うのがありますが、順番で片倉ガバナーが議長になるそうですが、震災の支援などあり大変らしいです。それと復興支援地区委員会ですが、これは21名のメンバーで構成されています。研修リーダーの市川伊三夫さんが委員長になって動いてくれています。4月から毎月1回必ず委員会があるのですが、2回目の時に、片倉ガバナーが「何を言ってもしょうがない、現地に行こう、テレビなどで見ていても、現地に行かなければよく分らないよ」と云うことで、10月8・9日に行ってきます。私も初めてですが、塩竈に21名で行って来ます。塩竈のロータリーの方から、全国の方をお願いしているのは、塩竈震災復興産業会館を造って欲れないか云う提案が出ております。それには5億数千万円掛かりますが、3億数千万円足りない。それで2750地区がそれに手を挙げています。何とかしようじゃないかと、全国の地区がどれだけ集るか、どれだけの資金が集るか分らないのですが、復興産業会館を造ろう！ロータリーらしい義捐金を使って支援をしたら良いのではないかと、そこで決まったのは、その21名が何をすると云うのではなくて、各クラブの方でいろんなことを提案してくれないかと、それに金がかかることでも良いことだったら、また集めようではないかと、そう云う動きが出て来ています。この21名、ガバナー補佐と云うのが2750地区で8名いますが、8名はあくまでオブザーバーであって、来年はまた違う次年度ガバナー補佐がなると思っています。市川復興支援地区委員会委員長も片倉ガバナーも80歳を過ぎています、その方の意欲を感じると、自分も、もっと動かなければいけないと思います。ガバナーの強い意志で現地に行ってきます。ガバナー補佐になってクラブ協議会に出ると云うのは特権なのですね。今日3人の方の話を聞いていると、よく勉強していると感じました。

○謝 辞 濱 仲 会 長

卓 話(第2197回例会)

○TOKORO会と親睦行事について

小 椋 克 廣 TOKORO 会 会 長

これから、私が入会以来係ってきたTOKORO会等のこと、RCに入って学んだこと、体験した喜怒哀楽についてお話します。1993年故村井氏から入会勧誘を受けた時は59歳。当時の会員72名。



当時はもみじ会も活発で、日立中研の花見例会、国分寺駅ビルの花火納涼例会等々、奥様方も大勢参加していました。翌年は会報委員会に所属し、年4回のMG会、多摩中分区のゴルフ・チャリティーゴルフの担当もして、1997年親子合同親睦ゴルフを立

ち上げました。チャリティーゴルフは1982年11月第1回を皮切りに、1991年まで毎年開催して、国分寺社会福祉協議会に1,000万円の寄付をしました。その後2007年には、北田会長・谷田実行委員長のもと、青梅GCに於いて国分寺RCの総力を結集して200名以上の参加者を集めて社協に100万円の寄付をしました。その他、山本陽子さんの盲導犬チャリティーゴルフにも協賛して大勢の国分寺RCの会員が参加しました。3年目には青少年奉仕委員長、そして地区青少年委員も拝命しました。その年、メキシコから来た交換留学生ロレーナ・ロペスさんのカウンセラーとなりました。その後、高橋華生子さん、メキシコの男子学生カルロス君のカウンセラーになりました。RCに入会して、一番の喜びはやはり地域社会で重責を担って活躍してもらえる立派な方々とお知り合いになり、平等なお付き合いをさせて頂いた事です。思い出は沢山あって、04～05年度岡田会長の時から安木節の師範一宇川てい子先生に習って「どじょうすくい踊り軍団」を結成して、5年続けて宴会に笑いとニコニコ募金集めに協力したこと。忘年会に講談の神田紫さんをはじめ、芸能人の方々に出演して頂いて皆さんに喜んでもらった事等もありました。国際奉仕や社会奉仕、青少年奉仕等々、RCに入らなければ経験出来なかった数々の奉仕活動に参加出来たこと。世界大会に夫婦で二度(台北・シカゴ)参加した事。等、楽しかった思い出は枚挙にいとまがありません。そして哀しかったのは、やはり、お世話になったロータリアンの方々の悲報等です。今、私より年上の会員が5人だけになりました。(小川・近藤・佐藤・谷田・岡田)この方々は何故か異常に元気です。私も引退する時期がもう近いとは思っていますが、この方々の動向も観察しながら、迷惑を掛けずに内にかえたいと思っている今日この頃です。

第 1 回 炉 辺 会 議 -9月13日-



国際ロータリー 第 2750 地区 多摩中グループ 東京国分寺ロータリークラブ

会 長 濱 仲 幸 弘 幹 事 高 橋 正 典
会報委員長 小 向 将 介 副委員長 山 内 千 枝

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8 階
Tel.042-322-6480

編 集 ・ 印 刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601
URL: <http://www.tokyokokubunjirc.org/>